



秋からのとりくみなどについて、絶対多数で承認された。(8月30日、六甲スカイヴィラにて)

第2回支部三役合同会議

当面する秋の2つの大きな課題へのとりくみを意思統一。 県教研の成功と対県確定勝利に向けて！



山名幸一執行委員長

兵教組は8月29日から2日間、六甲スカイヴィラで第2回支部三役合同会議をおこない、188名が参加し、秋以降のとりくみの意思統一を図った。

冒頭、山名幸一執行委員長は「当面する秋からのとりくみについて意思統一する会。姫路市で開催する県教研、対県確定の2つが大きな課題。この合同会議で、みなさんが十分理解された上で意思統一をしたい」とあいさつが

研究がある。教育の問題を考えると、子どもの未来について語り合う場としてあらゆる立場の教職員が参加した。加えて、秋以降のとりくみの意思統一を図った。また、川原芳和書記長より、経過と情勢の報告があり、秋・秋・年末闘争へ向け、具体的にとりくみの方針が提起された。

兵教組は第252回中央委員会で、10月17日執行予定の川西市議会議員選挙において、つだ加代子さんの推薦を満場一致で可決決定した。



つだ加代子さん

川西市議会選挙 つだ加代子さんを推せん決定

立候補を表明したつださんは、1976年より川西市立中学校教員として、子どもたちとともに「！」をモットーに、理科教育とクラスづくり、障がい児教育を実践してきた。2005年に34年にわたる教職を辞し、2006年川西市議会

議員に初当選。「夢ある子育て」「豊かな子育て」「だれもが住みよい」そして「生きがい」を創る川西をめざした。市には、情報公開と説明責任の遂行や市民の参加・参画による「まちづくり」を求め、住民主権の地方自治の実現などにとりくんできた。

「子育て支援」を主に、不登校や引きこもり、経済格差からの教育格差、子ども・若者の居場所づくり等、川西市子どもの人権オンブスマン事業の提言も視野に入れ、2期目の議席獲得へとスタートしていきま

皆さんが私の背中をしっかり押して下さっていることをしっかり受け止めて、暑い夏を乗り切ります。感謝のおもいで一杯です。

7月の参議院議員選挙では、みずおか俊一さん・なかにや正義さんへの各支部

が大変なとりくみに感謝する。しかし、中央での政権交代はおこったが、地方議

は、日教組障害児教育部長の和田明さんからの障害児教育をめぐる情勢報告があつた。

第1分科会、就学と学習の権利保障では、瀧ノ内秀都さん(芦屋)が「登校指導から始まった」と題したリポートで、Aさんを子どもだけに登校させたいという思いから始まった登校指導で、Aさんから様々なことを学んだ経験が語られた。

第2分科会、教育内容の創造と集団づくりでは、伊達美さん(姫路)が、「子ども同士のかかり合いを大切にしたい」と題し、特別支援教育が始まり、特別な支援を名目に個別の指導によって伸びると思われている効率性や合理性ばかりに目を向けていては見えてこないものがあるのではないかと問題提起から、人と人がかわり合うために必要なこと、皆と同じ活動や空間の中で喜びの分かち合いなど、インクルーシブ教育を模索する中で実践が語られた。

第44回日教組近畿・東海・北陸ブロック合同障害児教育学習会

7月30日から2日間、第44回日教組近畿・東海・北陸ブロック合同障害児教育学習会が、三重県四日市市テイホテルでおこなわれ、兵教組から15名が参加した。

その後、4つの分科会に分かれて、それぞれの実践報告をもとに活発な討議がおこなわれた。兵教組からは2名がリポートを報告した。

あなたならどうする？ 私の年金いったいどうなるの???

就職氷河期を乗り越えてきたタクロウさん。学生時代からしっかり貯金し、無駄な支出も極力抑えてきたしっかり者。気分転換しようと日曜日にテレビをつけると、「年金一元化」でパネリストたちが喧々囂々の議論。詳しくはわからなかったけれども、なんだか2階部分がどうのこうのと言っていました。最近、給与が下がるとか暗い話ばかり。某大手企業では、OBの年金減額の話も。タクロウさんは淡然と不安でなりません。タクロウさんが退職するころには、公的年金はいったいどうなっているのでしょうか？

お申込み・問合せ先 教職員共済生活協同組合兵庫県事業所 TEL: 078-221-9730 〒 神戸市中央区中山手通 4-10-8 ラッセホール4階 承 10-56-02(10.08)

この広告は年金共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。

こんなときは、月々5,000円から積み立てられる 教職員共済生協の年金共済をおすすめします!

(年金共済・遺族年金共済)

契約のタイプは2種類

積立方法は月払に加え、まとまった資金(10万円以上1万円単位)の積立方法として、自由に積み立てができる「任意積立」と年2回定期的に積み立てる「ボーナス積立」があります。また、積立期間中の契約タイプは次の2種類。

B型...融通性が高く使い勝手がよい契約
適格型...個人年金保険料控除が受けられる契約

適格型の掛金は個人年金保険料控除として生命保険料控除とは別に、年間最高5万円の所得控除を受けることができます。

積立期間	年金の種類	受取期間
B型 適格型 月々5,000円から1,000円単位で積立	定額型年金	5年*
	前厚型年金	10年
	逓増型年金	15年 20年
加入	退職	終身年金

確定年金は、受取期間があらかじめ確定している年金です。終身年金は契約者が生存している限り生涯受け取れる年金です。

お申込み・問合せ先 教職員共済生活協同組合兵庫県事業所 TEL: 078-221-9730 〒 神戸市中央区中山手通 4-10-8 ラッセホール4階 承 10-56-02(10.08)



参加者は富田さんから子どもに向けての「とっておきの言葉」を問われた。(7月28日、六甲スカイヴィラにて)

現在の同和教育
震災の教訓から、人間にとつて大事なことは「生きる力」だと私たちは学んだはずだ。しかし、現在の学

同和教育は、部落解放を

同和教育は、部落差別をなくす教育であるとともに命を大事にする教育である。同和教育が混迷しているこの12年は、まさしく自殺者年間3万人の時期と重なっているのだ。同和教育の本質は、命を見つめ一人ひとりをかけがえのない存在なのだと伝えることで、多くの成果を生み出してきた。

戦前、学力や体力をつけさせ生活改善をすることで、差別をなくそうとするとりくみがあつた。能力別学級編成や通知表のかわりに学級懇談会をもち、具体的な子どもへのあゆみを親御さんに伝えるなど、様々な教育方法において学ぶべき点が多かったが、差別はなくならなかつた。

「学ぶ」の主語は教職員・教える者であり、差別の現実と出会う以前の自分や差別との関わりを通して、これからどうすればいいかを学びなおすことが重要である。被差別部落の子どもの親との出会いを通して、彼らを取り巻く差別の現実、ただでなく、今まで気づけなかつた差別や気付けなかつた今までの人生を振り返る

インターネットやいじめ、障害者の問題に比べて、同和教育へのとりくみが少なかつたり、解放学級の認識率も非常に低かつたりという現状がある。差別を見抜き、差別に負けない力をつける場所として解放学級が担ってきた役割についても、今一度見直してもらいたい。

「差別を学ぶことで、昔は気づけなかつた身近な差別の存在に気づき許せないと考えた。一方で、自身も差別する側の存在になりうるという気づきもあつた。同和教育を学ぶことで、改めて自らを振り返るような授業をしていきたい。皆さんが愛情をこめて育てていただいた子どもたちを、しっかりとした人権感覚、実践力を持った教員として現場にかえしていきたい。

差別事件はますます悪質になってきている。不動産業者の土地差別事件や市役所窓口での同和地区有無の問い合わせ、同和地区出身の職員への中傷などがある。だが、このことを契機に同和教育のとりくみが具体的に実践されていった。部落差別は、なんの根拠もない特異な差別だが、今も

戦後もっとも大きな同和教育のとりくみは、1953年の全国同和教育研究協議会の結成である。全国の教員が交流をもつことで、最適な教育について交流する場を作っていくものである。1982年には、「部落の現実に深く学ぶ」というテーマを掲げた。その際、

「人間は心の一番深いところであつたらなければ嘘になる。同和教育に関わり続けてきたのは、あまりに人間的な部落のお父ちゃんやお母ちゃんとの触れあいであつたに違いない」と、先生の言葉が多くの感動と共感を呼んだ。ここから教員自らが村の中に入り、「学ばせていただく」という姿勢につながつた。

いわれる人権問題、差別や不平等の現実から生じる様々な課題に立ち向かう教育の営みが同和教育であれば、その出発点は言うまでもなくこの差別の現実である。差別の現実から深く学び、出発することが同和教育の重要な教訓であると言えらるのではないかと。『学ぶ』の主語は教職員・教える者であり、差別の現実と出会う以前の自分や差別との関わりを通して、これからどうすればいいかを学びなおすことが重要である。被差別部落の子どもの親との出会いを通して、彼らを取り巻く差別の現実、ただでなく、今まで気づけなかつた差別や気付けなかつた今までの人生を振り返る

「差別を学ぶことで、昔は気づけなかつた身近な差別の存在に気づき許せないと考えた。一方で、自身も差別する側の存在になりうるという気づきもあつた。同和教育を学ぶことで、改めて自らを振り返るような授業をしていきたい。皆さんが愛情をこめて育てていただいた子どもたちを、しっかりとした人権感覚、実践力を持った教員として現場にかえしていきたい。

自らを振り返る授業を
◆ 今後は人権教育の中で、

目的としてとりくまなれてきた。子どもの最善の利益の観点から、教育の理念を貫き、常に時代の最先端に立つてきたと思ふ。今、この国では経済の格差が教育や命の格差になってきている。こんな時代だからこそ、夢と希望を子どもに語り続けることで、子どもたちの未来への絆をつないでいかなければならない。12年連続で、自殺者が3万人を超えている。人と人との絆を断ち切つた地域社会に歯止めをかけなければならぬ。しかし私たちは命や個人を大切にすることを、具体的に教育で示せていかなければならない。

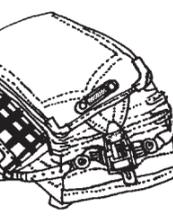
同和教育は、部落差別をなくす教育であるとともに命を大事にする教育である。同和教育が混迷しているこの12年は、まさしく自殺者年間3万人の時期と重なっているのだ。同和教育の本質は、命を見つめ一人ひとりをかけがえのない存在なのだと伝えることで、多くの成果を生み出してきた。

戦前、学力や体力をつけさせ生活改善をすることで、差別をなくそうとするとりくみがあつた。能力別学級編成や通知表のかわりに学級懇談会をもち、具体的な子どもへのあゆみを親御さんに伝えるなど、様々な教育方法において学ぶべき点が多かったが、差別はなくならなかつた。

「学ぶ」の主語は教職員・教える者であり、差別の現実と出会う以前の自分や差別との関わりを通して、これからどうすればいいかを学びなおすことが重要である。被差別部落の子どもの親との出会いを通して、彼らを取り巻く差別の現実、ただでなく、今まで気づけなかつた差別や気付けなかつた今までの人生を振り返る

インターネットやいじめ、障害者の問題に比べて、同和教育へのとりくみが少なかつたり、解放学級の認識率も非常に低かつたりという現状がある。差別を見抜き、差別に負けない力をつける場所として解放学級が担ってきた役割についても、今一度見直してもらいたい。

自らを振り返る授業を
◆ 今後は人権教育の中で、



「5年半、ずーっとじょうぶなランドセル」

高橋比奈子 第30集より

姫路市立小中学校五年

第37回教育課程編成講座前期講演 しっかりとした人権感覚、実践力を持った教員へ 「人権の視点に立った教育の継承と創造～同和教育3つの問い～」 富田稔さん (天理大学人間学部講師) 講演より



富田稔さん

「同和教育を知ることが教育の目的そのもの」 子どもたち一人ひとりを大事にしてきた「同和教育」の継承を

校現場では生きる力が育ちにくい状態にあるのではないかと。人権教育、子どもたちの豊かな体験や学び、人間的なつながりを育む教育を「同和教育」はめざしてきた。その同和教育を取り巻く環境は、非常に厳しいものとなっている。子どもたち一人ひとりを大事にしてきた同和教育のあり方を、現在のものとして考えていかなければならない。

同和教育は、部落差別をなくす教育であるとともに命を大事にする教育である。同和教育が混迷しているこの12年は、まさしく自殺者年間3万人の時期と重なっているのだ。同和教育の本質は、命を見つめ一人ひとりをかけがえのない存在なのだと伝えることで、多くの成果を生み出してきた。

戦前、学力や体力をつけさせ生活改善をすることで、差別をなくそうとするとりくみがあつた。能力別学級編成や通知表のかわりに学級懇談会をもち、具体的な子どもへのあゆみを親御さんに伝えるなど、様々な教育方法において学ぶべき点が多かったが、差別はなくならなかつた。

「学ぶ」の主語は教職員・教える者であり、差別の現実と出会う以前の自分や差別との関わりを通して、これからどうすればいいかを学びなおすことが重要である。被差別部落の子どもの親との出会いを通して、彼らを取り巻く差別の現実、ただでなく、今まで気づけなかつた差別や気付けなかつた今までの人生を振り返る

インターネットやいじめ、障害者の問題に比べて、同和教育へのとりくみが少なかつたり、解放学級の認識率も非常に低かつたりという現状がある。差別を見抜き、差別に負けない力をつける場所として解放学級が担ってきた役割についても、今一度見直してもらいたい。

自らを振り返る授業を
◆ 今後は人権教育の中で、

「人間は心の一番深いところであつたらなければ嘘になる。同和教育に関わり続けてきたのは、あまりに人間的な部落のお父ちゃんやお母ちゃんとの触れあいであつたに違いない」と、先生の言葉が多くの感動と共感を呼んだ。ここから教員自らが村の中に入り、「学ばせていただく」という姿勢につながつた。

いわれる人権問題、差別や不平等の現実から生じる様々な課題に立ち向かう教育の営みが同和教育であれば、その出発点は言うまでもなくこの差別の現実である。差別の現実から深く学び、出発することが同和教育の重要な教訓であると言えらるのではないかと。『学ぶ』の主語は教職員・教える者であり、差別の現実と出会う以前の自分や差別との関わりを通して、これからどうすればいいかを学びなおすことが重要である。被差別部落の子どもの親との出会いを通して、彼らを取り巻く差別の現実、ただでなく、今まで気づけなかつた差別や気付けなかつた今までの人生を振り返る

「学ぶ」の主語は教職員・教える者であり、差別の現実と出会う以前の自分や差別との関わりを通して、これからどうすればいいかを学びなおすことが重要である。被差別部落の子どもの親との出会いを通して、彼らを取り巻く差別の現実、ただでなく、今まで気づけなかつた差別や気付けなかつた今までの人生を振り返る

インターネットやいじめ、障害者の問題に比べて、同和教育へのとりくみが少なかつたり、解放学級の認識率も非常に低かつたりという現状がある。差別を見抜き、差別に負けない力をつける場所として解放学級が担ってきた役割についても、今一度見直してもらいたい。

「差別を学ぶことで、昔は気づけなかつた身近な差別の存在に気づき許せないと考えた。一方で、自身も差別する側の存在になりうるという気づきもあつた。同和教育を学ぶことで、改めて自らを振り返るような授業をしていきたい。皆さんが愛情をこめて育てていただいた子どもたちを、しっかりとした人権感覚、実践力を持った教員として現場にかえしていきたい。

自らを振り返る授業を
◆ 今後は人権教育の中で、

差別の現実

同和教育の節目

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

行政のとりくみ

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題

兵庫県の実態調査より

自らを振り返る授業を

同和教育の3つの課題

同和教育が残した教訓

同和教育の3つの課題

同和教育の3つの課題